

## 2021年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度	必修 選択	必須	年次	3	開講区分	1 Semester(前期)
学科・専攻	トップスタイリスト科	授業 形態	講義	単位 時間	1単位 30時間	曜日 時限	火 2
教員	諸岡 功明	【教員実務経験】 大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています。					
【到達目標】 美容業と法律の関係を理解し、公衆衛生の向上に寄与しうるような美容師になるために、国家試験合格に必要な知識を身につける。							
【授業の学習内容】 美容師になるために合格が必要な国家試験に必要な知識、テクニックを当該教科だけでなく、関係する他教科の分野まで身につけることができます。							
	授業形態	授業計画・内容					小テスト・定期試験
1	登校	①授業を受けるにあたって気をつけるべきことを理解する。②法制度の概要について理解する。 ③関係する行政体の仕事の違いを理解する。④保健所の役割と機能について理解する。					
2	登校	①美容師の仕事の法的意義を理解する。②美容師と理容師の職務の差異について理解する。 ③美容師免許の取得方法を理解する。					
3	登校	①美容師免許の取得の仕方を理解する。 ②免許取得後仕事ができない場合(免許取り消し、業務停止処分)について理解する。					小テスト5点
4	オンライン	①美容師の業務における法的義務について理解する。 ②管理美容師制度について理解する。					
5	登校	美容所の開設について、その時期、必要書類、変更届との差異などの点を理解する。					小テスト5点
6	オンライン	①美容所の開設者の講ずべき衛生措置について理解する。 ②美容所以外で美容業ができる特例について理解する。					
7	登校	①違反者への処分、とくにオーナーが閉鎖命令を受ける場合を理解する。 ②罰則になる5つのパターンを理解する。					
8	オンライン	中間試験					
9	登校	①中間テストで間違えたところを確認し、正しい知識を身につける。②立ち入り検査について理解する。					小テスト5点
10	オンライン	美容師法で問題となる期間についてポイントを理解する。以下の内容について国家試験で正答できる知識を身につける。 ①行政事務の主体 ②美容師と病氣					
11	登校	条例で追加して定めることのできる3つの事柄について、それぞれの同異点について理解し、それについての国家試験の過去問に正答できる。					小テスト5点
12	オンライン	美容師の法的な職務である公衆衛生について、とくに注意が求められる保健所、管理美容師、立ち入り検査制度及び生衛法についてポイントを確認する。それについての国家試験の過去問に正答できる。					
13	登校	以下ポイントについて再確認し、それについての国家試験の過去問に正答できる。 ①美容師法と関係法規 ②美容師法と数字 ③これが出たら×シリーズ					
14	登校	定期試験					定期試験50点
15	登校	定期試験フィードバック・成績評価					小テスト10点
準備学習 時間外学習	準 備:まよめのプリントを整理するファイルの用意 時間外学習:授業のポイントを復習し、記憶する。						
評価方法	●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点 ◇出 席 : TS・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合 否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価						
受講生への メッセージ	言葉が専門的で表現も難解ですが、その分出题の傾向とポイントは一定です。絶対に覚える必要のあることに絞って理解しましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】 日本理容美容教育センター『関係法規・制度』適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します。							